

おおかわ 園 だ よ り 8月 ・ 2026



厳しい暑さが続いています、子どもたちは毎日元気いっぱい過ごしています。
7月には3日間にわたる「お祭りごっこ」を行いました。年齢ごとに工夫を凝らしたお店や遊びを楽しみ、異年齢での交流も深まり、園内は沢山の笑顔と活気に包まれました。お祭りごっこの後には、子どもたちが楽しみにしていたプール遊びも始まりました。大きいクラスの子たちは特に、水しぶきをあげながらはしゃぐ姿・水の感触を全身で楽しむ姿…と、それはそれは嬉しそうで、一人一人の笑顔が輝いて見えるほどです。そして夢中になっている時って、ぶつかってもこけてもへっちゃら！トラブルになることも無く、心が満たされているように感じるので。そんな姿を見ているとやっぱり、心から開放的になって楽しめる経験(プール)は大切にしたいな、と再認識できる機会となりました。

大川保育園が取り組んでいるリズム運動について

参考文献一さくらさくらんぼのリズムとうた

齊藤公子著

大川保育園は、0歳児から5歳児まで年間を通してリズム運動という活動に取り組んでいます。リズム運動とは、ピアノの音に合わせて走ったり跳んだり転がったりと動物などの動きに見立てて、楽しみながら体を動かす活動です。例えば「かめ」の曲が流れると、うつ伏せになって背中を伸ばし、手で足首をつかんでカメのような格好になります。他にも床に寝て体をひねって転がる「どんぐり」や、しゃがみ歩きをする「あひる」、年長児が取り組む「ちょう」や「ポルカ」など、様々な動きのリズム運動があります。なぜ大川保育園ではリズム運動に取り組んでいるかというと、それは子どもの基本的な体の力を育むためです。

基本的な体の力を育むとは、正しい体の動きを育てるということです。普段から思いきり遊びこんでいれば育っていく力ですが、年々、子どもたちが体を思いきり動かして遊ぶ場所・経験が減っていると言われており、人間が本来持っている体の力が育ちにくくなっているという現状があるからです。だからこそリズム運動を通して、子どもの心と体の育ちを大切にしていきたいと考えています。手・足をしっかり刺激して動かすことによって知的な脳の発達を促しますし、しっかりとした体づくりをしていくことで、運動機能が高まり体力がつきます。思い通りに動く体、表現できる体になれば意欲も湧いてくるのです。(脳科学でも確認済み)素敵に表現する姿や楽しんでいる姿を見て、「あんな風になりたい」と努力するようになったり、より意欲的になったりしていくので、頑張っている子に対して、応援したり教え合ったり、集団の中で育まれる力も育ちます。また保育士は、できた・できなかった・上手・下手の視点で見るのではなく、一人一人の発達を見て発達の弱い部分を捉え、保育の中でどんな手立てができるかを考えていくようにしています。

そんな子どもたちの心身の豊かな育ちを引き出す要素が、リズム運動にはたくさん詰まっているのです。

各クラスだけでなく他クラスと合同でリズムをして、他のクラスの動きを見ながら、刺激し合って楽しんで行う時もあります。

リズム運動を、この夏も体育館という広い場所で行う計画(年中・年長)でしたが、この暑さの為中止せざるを得ない状況です。秋にも計画(10月13・14日)はしていますが、その他でも機会を見つけて広い空間でのびのびと楽しむ経験を作っていきたいと考えています。



1	土	
2	日	
3	月	
4	火	体育館リズム
5	水	
6	木	
7	金	防災訓練
8	土	
9	日	
10	月	お盆週間
11	火	山の日
12	水	お盆週間
13	木	お盆週間
14	金	お盆週間
15	土	お盆週間
16	日	
17	月	
18	火	体育館リズム
19	水	
20	木	
21	金	誕生会
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	デイキャンプ(きりん)
30	日	
31	月	